

つながり合う読書活動

松元公民館図書室ボランティア 茶々の会

2000年4月に発足した「茶々の会」は、様々な世代の方とつながりながら、本への興味・関心をもってもらうのはもちろん、読み聞かせの時間が楽しくてほっとできる、そんな居場所になれるように心がけて活動しています。そこで、テーマを「つながり合う読書活動」と設定し、地域での私たちの取組の一端を紹介します。

1 活動の概要

□ 設立

2000年4月1日に発足。現在10人で活動。

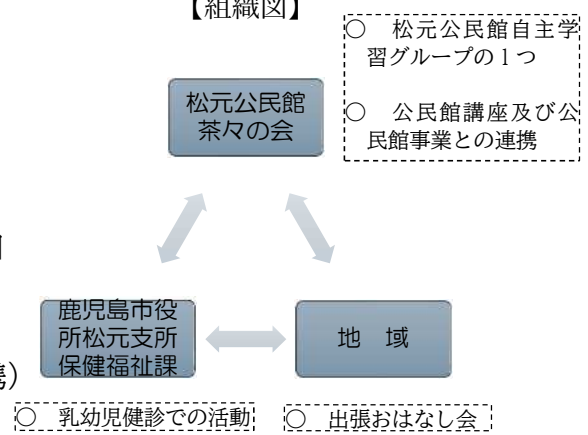
□ 組織図

右の図のとおり

□ 主な活動

- ア 定例会…毎週火曜日
- イ おはなしのじかん補助…毎月第2木曜日
- ウ おはなし会出演…夏(7月)・秋(11月)
- エ 公民館講座講師…前期・後期
- オ その他(各関係機関との連携・地域連携)

【組織図】



2 活動内容

(1) 公民館との連携

ア 定例会

毎週火曜日2時間程度、公民館図書室の一角で毎月の行事予定や活動計画の確認、講座の打ち合わせや準備、選書や制作の準備、練習等を行っている。

イ 公民館講座

(ア) 前期講座「親子読書とリズム運動」

読み聞かせやリズム運動等を楽しみながら、親子や参加者同士のふれあいを深める講座

(イ) 後期講座「親子読書とリトミック」

読み聞かせやリトミックを楽しみながら、親子や参加者同士のふれあいを深める講座

ウ おはなしのじかん・おはなし会

(ア) おはなしのじかん

乳幼児とその保護者、プレママ及びその家族を対象に、5月から2月までの第2木曜日午前10時30分から1時間程度実施(7月、11月を除く全8回)

公民館図書室司書と連携し、季節の歌や読み聞かせ、季節に応じた制作遊び等

(イ) おはなし会

子どもから大人まで楽しめる「なつのおはなし会(7月)」・「あきのおはなし会(11月)」を松元公民館ホールで開催。図書室司書と連携を図りながら、流れや内容を綿密に話し合いリハーサル等を経て実施



(2) 鹿児島市役所松元支所保健福祉課との連携

乳幼児と保護者が絵本等を介して心ふれあうきっかけを作ることを目的に旧松元町時代から続くブックスタート事業を、保健福祉課と連携し現在も継続して実施している。

ア 1歳6か月健診

毎月第2火曜日に実施される健診に合わせて、体を動かして参加ができる大型絵本や親子でふれあえる絵本などの読み聞かせをした後、おはなし会や子育てサロンのチラシとともに、手作りおもちゃをプレゼントしている。



イ 3歳6か月健診

毎月第4金曜日に実施される健診に合わせて、参加型の大型絵本の読み聞かせや手袋シアターなどの後、親子でチラシを使った制作活動を行っている。また、最後におはなし会の案内や手作りおもちゃをプレゼントしている。



(3) 地域との連携

児童クラブや子育てサロン、福祉施設等、依頼があれば出向いて、季節の歌や読み聞かせ、制作等を行っている。

3 成果

(1) 公民館で実施するおはなし会への参加者がコロナ禍前に近づいている。

	令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
おはなし会総数	386人	170人	212人	300人

* 9月時点比較：令和元年度 116人→令和7年度 164人

(2) 公民館図書室に小さな子どもを連れた親子や療育クラブ等の来室が増加している。

	令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数（人）	13,020	11,085	13,797	14,998
貸出冊数（冊）	50,539	44,655	46,311	47,376

4 課題

- (1) 会員の確保
- (2) 著作権とのかかわり
- (3) 高齢者との交流

5 終わりに

これからも様々なつながりを大切にしながら、読み聞かせを届けていきたい。